

住吉小だより



みどりの風

令和2年5月7日

<http://sumiyoshi.shibata.ed.jp/>

TEL0254-24-1148

学校は、子どもたちのためにある

校長 天井 弘

新型コロナウイルス感染防止に向けて、保護者の皆様からは、多大なるご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。新型コロナウイルスの感染拡大が憂慮される状況が今現在もあります。引き続き、国、県、新発田市の感染防止に向けた通知に基づき、取組を強化してまいります。

学校が休校になって、あらためて思うことは、「学校は、子どもたちのためにある」ということです。春になり、住吉小学校の校地内の桜やチューリップなどの草花が美しく咲いていても、子どもたちのいない学校では、何か寂しさを感じます。広い体育館や各教室に子どもたちの声が響き渡らない静かな日々には違和感をおぼえます。そんな日々が、こんなにも長く続くとは思っていませんでした。やはり、学校は、子どもたちがいてこそ学校の存在意義があるのです。「学校は、子どもたちのためにある」ということ強く認識してこれらの教育活動を展開していきたいと思っています。

令和2年3月9日付け職員向けの校長通信「4つのき&3つのや」で私は、次のようなことを書きました。

「明けない夜はない」「日はまた昇る」

新型コロナウイルスの感染拡大という、ある意味、世界中の国難となろうとしています。国内の大多数の小中学校が臨時休校。子どもたちにとっても、私たち教職員にとっても、学年のまとめや進学・進級に向けて重要な3月の教育活動が、突如実施できなくなったのは断腸の思いです。しかし、感染拡大防止、何より子どもたちの健康・安全を第一に考えた時、やむを得ない措置であったと私は、受け止めています。

まだ、全く先の見通せない状況であります。私たちは、「明けない夜はない」「日はまた昇る」ということを信じて、臨機応変に対応していくことが重要だと思っています。また、見通しのもてない中、ベストを求めるは難しいです。少しでもベターな方法を全教職員が協力し合って取り組んでいくことが重要だと思っています。

「チーム住吉小」として、皆さんで力をあわせて、この難局を突破していきましょう。

令和2年4月17日付けの新発田教育委員会 教育長 工藤 ひとし様の「児童生徒の皆さんへ」というメッセージが心に響きました。メッセージの最後の段落を再度紹介します。

「児童生徒の皆さんへ」 ～（中略）～

つらいこと、我慢することも多いと思います。しかし、朝が来ない夜はないように、いつかは、今までどおり、いや今まで以上に、みんなと楽しく集い、学び、遊べる日がくるはずですよ。それを信じて「今」を乗り越えていきましょう。

この難局を乗り越えるために、保護者の皆様のご理解とご協力よろしくお願いたします。